

【エクアドル内政・外交：2012年3月】

1. 概要

- 3月 14日 コレア大統領のトルコ訪問
- 17日 コレア大統領のスペイン訪問
- 22日 先住民族による抗議活動

2. 内政

(1)先住民族による抗議活動

22日、キト市内では先住民族による抗議活動が行われ、先住民族代表が国会内に入る際に、国会内に進入しようとする他の先住民と警察官とがもみ合いとなり、警察官4名が軽傷を負った。

(3)一般公募選抜試験による外交官採用

30日、外務省は一般公募選抜試験を実施し70名の外交官(三等書記官級)を採用した旨を発表した。今年1月より始められた選抜試験は終わり、計70名(男性35名・女性35名)を在外公館の三等書記官として選抜した。これは多民族・多文化を推進する憲法に基づき外務省が実施したとされる。

3. 外交

(1)対トルコ関係

14～16日、コレア大統領はパティーニョ外相、リバデネイラ貿易担当副大臣とともにトルコを訪問した。コレア大統領等は、ムスタファ・ケマル・アタテュルク霊廟、建国記念碑を訪れ記帳した後、アンカラ大学で「老練な戦士」と表されたエロイ・アルファロ元大統領の胸像の除幕式に出席した。また、アブドゥラー・ギュル大統領、レジェプ・タイップ・エルドアン首相と会談を行った。会談では、経済協力、社会開発、投資、観光促進など多岐に亘る分野につき協議され、貿易促進に向けた意見交換もなされた。

(2)対スペイン関係

17日、スペイン首相官邸に於いて、コレア大統領はマリアーノ・ラホイ西首相と会談した。コレア大統領はマドリッド訪問が喜びであるとし、政治的テーマにおいては、大災害であり、移民者の人権の侵害であり、スペインの銀行家が犯す乱用である不動産危機につき、スペイン政府とともに尽力することを約束した。また、コレア大統領は来たる秋に行われるイベロアメリカ・サミットへのラホイ首相の招待を受け入れた。